



令和2年5月11日

各位

会社名 株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 松田 洋祐
(コード番号 9684 東証第一部)
問合せ先責任者 最高財務責任者 渡邊 一治
(TEL. 03-5292-8000)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和元年5月13日に公表した令和2年3月期の通期連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

令和2年3月期通期連結業績予想数値の修正

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 270,000	百万円 24,000	百万円 24,000	百万円 16,800	円 銭 140.97
今回修正予想(B)	260,500	32,700	32,000	21,300	179.02
増減額(B-A)	△9,500	8,700	8,000	4,500	
増減率(%)	△3.5	36.3	33.3	26.8	
(ご参考)前期実績 (平成31年3月期)	271,276	24,635	28,415	19,373	162.57

2. 修正の理由

令和2年3月期の通期連結業績予想に関して、売上高については、HDゲームにおいて大型タイトルである「ファイナルファンタジー VII リメイク」の発売時期を令和3年3月期に延期したことを主な要因として、前回予想を下回る見込みとなりました。

他方、利益については、コンテンツ制作勘定に係る評価減を計上した一方、MMOにおける多人数参加型オンラインロールプレイングゲーム「ファイナルファンタジーXIV」の拡張パッケージ販売と課金会員者数増による貢献利益、スマートデバイス・PCブラウザ等をプラットフォームとしたコンテンツにおける「ドラゴンクエストウォーク」の好調、出版事業におけるマンガアプリ「マンガ UP!」や電子書籍等のデジタル媒体での販売増加等の要因により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る見込みです。

※ 上記の業績予想につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

3. 配当予想の修正について

令和2年3月期 期末配当予想修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	10円00銭	33円00銭	43円00銭
今回修正	—	44円00銭	54円00銭
当期実績	10円00銭		
前期実績 (平成31年3月期)	10円00銭	37円00銭	47円00銭

4. 配当予想修正の理由

当社グループは、株主に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置づけ、令和2年3月期に係る株主還元政策としては、連結配当性向30%を目安とする配当で行うこととしております。

当期の期末配当金予想については、上記業績予想の修正を踏まえ、1株につき44円(年間配当金は1株につき54円)に修正いたします。

以 上